



俳句

横山容子 選

無人駅ホーム短かく冬どるる 和泉つる子
 秘境めく峡の古民家古厝 田坂淳子
 リーダーは天辺に居る松手入 伊藤律子
 水鳥の百羽百態小春風 渡部喜生
 ばらばらに来て揃ひ翔つ寒雀 十河多美子
 小春日や久しぶりなる針仕事 高橋容子
 新月のほのぼのの紅く城山に 高野臣子
 青空に止まってゐる蜻蛉かな 眞鍋正利

川柳

藤原眞佐美 選

朝露を受けた野花に精もらう 池田智恵子
 今年こそけじめつけたい年賀状 桑原冴子
 空返事布団恋しい寒い朝 越智富美子
 温もりが一杯残る亡父の杖 青野洋子
 私も母の形見が似合う齡 三谷福美
 奥祖谷のつり橋にもう足すくむ 加藤千賀子
 風邪かしら節ぶし痛む冷える朝 今井マサコ
 うたた寝へ強い耳鳴りゆり起こす 神尾禮子

短歌

藤田虎雄 選

高野槇繁りし山に生まれでし雫の旅は四万十
 となる 佐伯久美子
 畑荒らす猿二匹いて満腹の顔はおどしの音に
 も動ぜぬ 神野孝子
 秋空にサルビア咲きてなつかしや もんべの
 母は夢の中なり 三谷福美
 天高くこの秋空を賑わすは我を見下ろす皇帝
 ダリヤ 高橋強一
 伸び伸びと皇帝ダリア咲き誇り 大谷翔平の
 雄姿と重なる 高橋容子
 大根が赤子の手ほどに太ったと亡母の言の葉
 思いつ間引く 森田 薫
 留袖に手を通すのも最後までと 涙でかすむ新
 郎新婦 眞鍋生朝子
 夜の庭 ライトアップし富士山も五重の塔も
 イルミネーション 越智富美子

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 西条市役所 広報広聴課 広報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)



ふるさと産品通信

冬が収穫の最盛期！

のり

冬本番のこれからのシーズン、西条市では、のりの収穫が最盛期を迎え、新のりが出荷されます。一年を通して食卓に欠かせないのりの生産は冬に行われ、冷たい海水と海風の中での作業は大変なものです。

市内の燧灘と呼ばれる海域には遠浅の干潟があり、江戸時代後期から、のりの養殖が盛んでした。「酢のり」という名の、収穫したばかりの新鮮な生のりを三杯酢で食べる、酒のさかなにピッタリの郷土料理もあります。

近ごろ当市では、板のりのほか、のりの芽を細かく刻まず、そのままを乾燥させた「ばらのり」と呼ばれるものも多くなってきています。ばらのりは栄養を逃さず、のり本来の豊かな風味と旨味が味わえます。

薄くて軽いのりですが、実は大変栄養価の高い食品で、良質なたんぱく質のほか、日ごろの食生活で不足

しがちなビタミン類、ミネラル、食物繊維などを豊富に含んでいます。

しかし近年、温暖化による水温の上昇などに起因してか、生産量が減少傾向にあります。新のりが出回るこの時期、海の恵みに感謝しながら、故郷の特産品である「西条産のり」を味わってみませんか。



■問合せ
 市庁舎新館2階 観光物産課
 物産・ブランド推進係
 TEL0897-52-1380